

---

## PRESS RELEASE

---

ロンドン、2019年11月21日

---

### 2019年の世界のプラチナ市場は、2020年度の余剰予測と均衡

- 2019年の市場は2%の供給増でバランスがとれているが、ETF保有高は100万オンスと記録的な増加
- 2020年は、1%の供給減および低下してなお堅調な投資需要にもかかわらず、670キロオンスの余剰
- 2020年の自動車分野需用予測では、プラチナによるパラジウムの代替は含まれない

ロンドン、2019年11月21日：World Platinum Investment Council (WPIC) は、本日2019年第3四半期に関する *Platinum Quarterly* を発行しました。これには、2019年の通年予測の見直しと、2020年の予測が含まれています。

改訂版2019年予測は、従来予想の345キロオンス余剰から、現在は30キロオンスの不足を見込んでいるため、今年のプラチナ市場は均衡がとれると予測されています。12%という著しい需要増は、記録的なETF買い入れが貢献し、自動車(5%減)、宝飾(6%減)、工業(1%減)セグメントで予想される需要減、および2019年通年での2%の供給増合計を十分にオフセットした。

鉱山からの供給量は、採掘プロジェクトの一部が強化されるため1%増加しますが、これは2018年に加工過程で積みあげた金属の精製が増大したことが主な理由です。パラジウムとロジウム価格の大幅な上昇のため、プラチナのリサイクルが3%の伸びを見せましたが、2019年大半におけるプラチナ価格の低迷のため、宝飾のリサイクルは低下しました。

2020年の予測については、市場での余剰量を670キロオンスと予想しています。これは、1%の供給減および投資需要が過去5年平均よりも上回るにもかかわらず、今年度に見られた記録的なETF買い入れが繰り返されないことを主因とした10%の需要減を反映しています。鉱山からの供給量は、2019年よりも2%減少することが予想されています。

#### WPIC 最高経営責任者 Paul Wilson (ポール・ウィルソン) によるコメント：

「2019年で注目に値するのは、投資需要の素晴らしい業績です。2019年上半期に特に堅調だった投資需要は、第3四半期でも継続し、第4四半期にも引き継がれ、裏付けのあるETFの保有高は100万オンス増加し、2007年に開始されて以来、最高量となります。

こうしたETF買い入れは、主に2~3年の見方とポジションを取る大手機関投資家によるもので、将来の需要増の可能性と制約される供給がもたらす収益機会を反映したものとなっています。また、

---

## PRESS RELEASE

---

ロンドン、2019年11月21日

---

軽視されだが、需要増が、今では短期的かつ彼らの資金の投資期間中に実現することに対する理解を反映した証拠になっています。

2020年の投資需要は堅調さを維持しますが、記録的だった2019年のレベルを大幅に下回ります。また、鉱山からの供給の落ち込みにもかかわらず、2020年の余剰量は依然として妥当なものとなります。自動車需要で予想される減少では、自動車メーカーがCO<sub>2</sub>に対する多額の罰金を避けるための対策として期待されるディーゼルの販売増の影響は含まれず、プラチナによるパラジウムの代替も除外されています。2019年のプラチナ価格に対するパラジウム価格の持続的なプレミアム（第4四半期初めから1オンス平均\$839）は、早期の代替が明確になる可能性を高めています。

プラチナ投資への関心は、さらに広がっています。2019年には、大規模なマクロファンドの数が増加し、世界的で約13兆ドルあるマイナス利回りの債券の代替として金をすでに利用していると同時に、プラチナへも投資しています。

また、CMEグループとのパートナーシップを締結したこともご報告いたします。CMEグループの世界中の読者に対し、WPICのインサイトを提供していきます。」

### 2019年度第3四半期

2019年第3四半期のプラチナ需給は、供給合計が8%減、需要合計が7%増で、ほぼ均衡を保ちました。各年第3四半期に予想される季節性による典型的な大規模余剰は、2019年第3四半期には25キロオンスと小規模な余剰に落ち着きました。これは鉱山からの供給が、前年比11%落ち込んで、リサイクル供給の2%増および総需要の7%増を相殺する以上の落ち込みとなりました。供給の減少は、主に南アフリカでの精錬のメンテナンスによるものであり、需要は、今四半期において堅調な投資需要が継続したため増加しました。

中国では、WPIC上海オフィスが立ち上げた取り組みが継続され、投資アセットとしてのプラチナの認知度と所有を大幅に増加させています。WPICによる中国銀行、中国農業銀行、中国黄金協会などの大規模かつ著名な組織とのコラボレーションとパートナーシップは、インフラ面のチャレンジが一部あるにもかかわらず、プラチナ投資に関して、個人および機関投資家の認知度を高めています。現在、パートナーのうち4社が中国でプラチナ地金を製造販売し、小売りにおける入手可能性と選択をさらに向上させています。現在、新しいパートナーや製品のパイプラインは強い状態にあり、2020年以降も中国でのプラチナの認知と流通の向上に役に立つと思われます。

「Platinum Quarterly」最新版のダウンロードおよび／または今後調査結果を無料でお受取りになるための登録については、WPICのウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください。

-以上-

PRESS RELEASE

ロンドン、2019年11月21日

2019年度第3四半期予想	2017	2018	2019年予想	2020年予想	2019年予想 /2018年成 長率 (%)	2020年予想 /2019年予 想成長率 (%)	2018年第3四半期	年第2四半期	年第3四半期
<b>プラチナ需要供給バランス (koz)</b>									
<b>供給量</b>									
<b>製錬高</b>	191	190	194	190	2%	-2%	52	51	47
南アフリカ	136	139	141	136	1%	-3%	38	37	34
ジンバブエ	15	14	14	14	-1%	0%	4	4	4
北米	11	11	12	13	6%	11%	3	3	2
ロシア	22	21	21	22	4%	1%	6	6	5
その他	6	5	6	6	9%	-3%	1	1	1
<b>生産者製品在庫における増減 (+/-)</b>	+1	+0	-1	+0	N/M	-100%	-1	+1	-1
<b>鉱山からの総供給量</b>	191	191	193	190	1%	-2%	51	51	45
<b>リサイクル</b>	59	60	62	62	3%	1%	15	15	16
自動車触媒	41	44	47	48	5%	2%	11	11	12
宝飾	17	16	15	14	-5%	-5%	4	4	4
工業	0	0	0	0	100%	0%	0	0	0
<b>総供給量</b>	250	251	255	252	2%	-1%	66	67	61
<b>需要</b>									
<b>自動車</b>	103	96	92	89	-5%	-3%	22	24	22
自動車触媒	99	92	87	84	-5%	-4%	21	22	21
ノンロード	4	5	5	5	3%	3%	1	1	1
<b>宝飾</b>	77	72	67	66	-6%	-2%	18	17	17
<b>工業</b>	52	60	59	60	-1%	2%	15	15	14
化学	17	18	19	20	10%	2%	5	5	5
石油	3	7	7	8	-2%	4%	2	2	2
電気	7	6	7	7	2%	2%	2	2	2
ガラス	6	8	7	6	-12%	-5%	2	2	2
医療	7	7	7	8	0%	2%	1	2	1
その他	12	13	12	12	-8%	5%	3	3	3
<b>投資</b>	9	0	37	16	N/M	-56%	2	3	7
地金、コインの増減	7	9			0%		2	2	1
ETF保有高の増減	3	-8			0%		0	1	6
取引所在庫の増減	-1	-1			0%		0	0	0
<b>総需要量</b>	241	228	256	231	12%	-10%	56	58	60
<b>残余量</b>	9	23	-1	21	N/M	N/M	10	9	1
<b>地上在庫</b>	129*	72	94	115	-1%	22%			

メディア関連のお問い合わせ先 : Kekst CNC :

Simren Priestley

+44 203 7551 670

[wpic@kekstcnc.com](mailto:wpic@kekstcnc.com)

---

## PRESS RELEASE

---

ロンドン、2019年11月21日

---

編集者への注記：

### **Platinum Quarterly**について

*Platinum Quarterly* は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される史上初のレポートです。*Platinum Quarterly* は World Platinum Investment Council の出版物です。これは主に、白金族金属市場において権威のある独立機関の SFA Oxford (SFA) に依頼し、実施された調査および詳細な分析に基づいています。

### **World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル)** について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) は、プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資家の増加するご要望に応えるために設立されました。WPICの使命は、行動可能な見識と重点製品開発を通して、プラチナに対する世界的な投資需要を喚起することにあります。WPICは、南アフリカの主要プラチナ生産者により2014年に創設されました。WPICの加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナ)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ) です。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。[www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com)

WPICオフィス住所：64 St James's Street, London, SW1A 1NF

### **SFA (Oxford)** について

SFA (Oxford) は2001年に設立され、白金族金属市場において最も重要な権威のある独立機関の一つであるとみなされています。本機関の徹底的な市場調査と完全性は、鉱山から、市場、リサイクルに至るコンサルティング、および他に類を見ない世界的な業界ネットワークにより裏付けられています。

SFAは、広範かつ多岐にわたる業界知識を有し、それぞれがバリュー・チェーンの主要分野を専門領域としている専属のPGMアナリスト9名、および世界各地を拠点とする多くの提携スタッフで構成されています。SFAは、お客様に対して、業界の未来に影響する最も困難な質問に対して回答を提供することが可能です。

データまたは論評のいかなる部分も、著者による書面での許可なしに、資本市場（資金調達）へアクセスする特定の目的のために使用することはできません。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください：<http://www.sfa-oxford.com>

---

## PRESS RELEASE

---

ロンドン、2019年11月21日

---

### プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の1つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの2つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去5年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の72%~78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の4大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去5年間のプラチナ需要は、総需要量の41%から43%の間を推移しています。他工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の22%となっています（過去5年間の平均）。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の33%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も小さいカテゴリーであると同時に、過去5年間で最も変化が大きく、総需要の0%から6%を占めています（地上在庫の増減を除く）。

### 免責事項

World Platinum Investment CouncilおよびSFA（Oxford）のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細については、ウェブサイトをご覧ください。 [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com)